

**令和4年度福岡県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール選手権大会**

**兼全国高等学校総合体育大会県予選**

**第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会福岡県予選大会**

# **大会開催に向けた感染拡大防止ガイドライン**

福岡県高等学校体育連盟ラグビー専門部

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

■今大会は全国高体連ラグビー専門部の定める「高等学校ラグビーフットボール新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」に準じて行うことを原則とする。

### 【入場(本部・グラウンド・応援席)を認める者】

■チームに帯同できる者は、試合当日に「チーム関係者・生徒入場時チェックシート」に記載のある学校関係者、チームスタッフ(監督、部長、SAを除く5名まで)、選手、マネージャーのみとする。上記以外の者はチームとの帯同を認めない。

### 【全般的な注意事項】

■全ての関係者が会場に入場する際の必須条件として、入場の際の検温、健康状況の書面での確認・提出、アルコール消毒を行うこと。 ※37度5分以上の発熱が認められる場合は入場を認めない。

■大会に参加する各チームは試合当日、「チーム関係者・生徒入場時チェックシート」を代表者が保管すること。

■審判員などの大会役員、来賓、医療関係者、報道関係者、大学関係者は本部にて「個人健康チェックシート」記載のうえ提出する。

■万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出された書面については大会事務局において少なくとも1か月間保存しておく。また、大会事務局は関係者全員の連絡先を管理する。

### 【大会参加者への事前対応】

感染拡大防止のために、以下の事項を遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する観点から、大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあります。各チームにて参加者への周知徹底をお願いします。

(1) 現在、以下に記載の項目を含め、新型コロナウイルス感染症の兆候が一切見られないこと。

・新型コロナウイルス感染症に関係するいかなる症状も見られないこと。

ア 37度5分以上の発熱

イ 咳、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ(倦怠感)・息苦しさ(呼吸困難)

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる・疲れやすい等

(2) マスクを持参すること(競技中以外、控室での着替えや会話をする際はマスクを着用する)

(3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

(4) 他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

(5) 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。

(6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

(7) 試合終了後3日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して専門委員長に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

(8) 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。

(9) 移動についての注意事項。

○公共交通機関での移動を避けられるチームは、可能の場合は個人による移動を検討する。

○できるだけ車の相乗りは避けるようにする。

○公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。

○チャーターバスを利用する場合は、運行会社と協力し、事前・事後に徹底的にバスを清掃・消毒するように手配し、余裕を持った座席数の確保や換気の徹底等の予防策を講じること。

(10) 試合終了後、各チームは速やかに帰宅すること。

### 【大会参加申し込みについて】

(1) チーム責任者は必ず、選手及び保護者から大会参加の同意書を取り、参加申し込みを行う。同意書は各チームで保管すること。

(2) 大会参加を強要しないよう配慮すること。

(3) 代表者は参加者全員の連絡先を保有していること。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

## 【感染もしくは感染の疑いがある場合の対応】

### I チーム、大会関係者に感染もしくは感染の疑いが判明した場合

- 1 陽性となった者は、医師の許可が下りるまで(隔離期間が終わるまで)、大会に参加できない。
- 2 陽性疑いとなった者は医師の診断が下り、陰性が確認されない限り、大会に参加できない。
- 3 濃厚接触者となった者は、陽性者との最終接触日を0日目として5日間の隔離期間中は大会に参加できない。  
ただし、2日目、3日目に抗原定性検査等を行い陰性判定が出ればチームに合流し、活動することができる。
- 4 濃厚接触疑いとなった者は、下記の、「II 大会出場可否の判断について」に従い大会出場可否を決定する。

### II 大会出場可否の判断について

#### 1 陽性者及び濃厚接触者について保健所または医師の判断がなされている場合

- (1)陽性者(疑い含む)の隔離期間が大会期間と重なっていても、他の選手に濃厚接触もしくはその疑いがないとの判断が保健所もしくは医師の診断によって明確に示されていれば、その陽性者を除くチーム編成で大会参加は可能である。
- (2)チーム内に濃厚接触者、もしくはその疑いのある選手がいる場合において、その隔離期間が大会期間と重なっていても、濃厚接触者ではないと保健所もしくは医師の診断によって明確に示されている選手でチーム編成ができていれば、大会参加は可能である。

#### 2 陽性者(疑いを含む)及び濃厚接触者(疑いを含む)について保健所または医師の判断が間に合わない、もしくはなされない場合

##### (1)陽性疑いの判断基準

以下のいずれかに該当する者は大会運営上、陽性疑いとする

- ①37.5℃以上の発熱、またはのどの痛み、咳などの症状が顕著である者
- ②試合前7日間以内に発熱等の症状があったにもかかわらず、医療機関を受診していない者

※これらの者は、その後の対応のために、抗原定性キット等にて検査を実施すること。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であっても、陽性疑いとして扱う。対応は、上記 I 2 及び II 1(1)のとおり。
- ・陽性であった場合は、他の選手の濃厚接触(疑い含む)の判定を行う。

##### (2)濃厚接触の判定基準

以下のいずれかに該当する者は濃厚接触者とする

- ①陽性者(陽性疑い含む)の発症 48 時間前以降に、マスクの着用なく、1m以内で15分以上接触した者
- ②陽性者(陽性疑い含む)の発症 48 時間前以降に、寮等の宿泊施設で同室であった者

※これらの者は、その後の対応のために、抗原定性キット等にて検査を実施すること。

- ・簡易検査の結果が陰性判定であっても、濃厚接触者として扱う。したがって、判定結果に関わらず陽性者との最終接触日を0日目として5日間の隔離期間を要する。ただし、2日目、3日目に抗原定性検査を行い陰性判定が出ればチームに合流し、活動することができる。対応は、上記 I 3 及び 上記 II 1(2)のとおり。

※すべての項目において、自治体の保健所からの判断が出た場合は、その判断を最優先する。

## 【大会中止の要件】

- 緊急事態宣言が発令され、開催県高体連が公式戦(県大会)を中止にした場合。
- 県教育委員会等により休校措置が講じられた場合。
- 競技場の使用制限等、関係諸機関の指示により試合実施が不可能となった場合。
- 大会運営上に支障をきたす場合。

※大会中止については上記の要件を踏まえて、感染状況により主催者と大会事務局で協議をして判断する。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

### 【大会当日の留意事項】

- 試合当日は、「①チーム関係者・生徒健康チェックシート」を代表者が保管すること。
- 常にフィジカルディスタンス(できるだけ2m)を保つこと。
- 会場内は必ずマスクを着用し、大きな声での会話や応援等をしない。
- ベンチで待機するリザーブ選手・チームスタッフ及びピッチサイドで待機するチームメディカルスタッフはフィジカルディスタンスを確保出来ない場合、マスクを着用する。但し、ウォームアップ時や交替直後の選手など、健康状態の維持に支障が出る場合を除く。
- メディカルスタッフの服装、装備について  
試合に立ち会うドクター、担架要員、メディカルスタッフ、給水係りは濃厚接触者となることを避けるため、マスク、防水性手袋の着用・装着を義務づけるものとする。  
また、担架使用で体位変換を行う場合や医務室での治療時はガウン、ゴーグル(又はフェイスシールド)の着用を推奨する。
- 本部やベンチ、チームテント等にアルコール消毒液を設置するのでこまめな手指消毒を心掛ける。
- 毎試合終了毎に、使用したボールを消毒する。
- 各チームは消毒液等を持参する。なお、各選手席(ベンチ)や更衣場所は、使用したチームが消毒する。
- ウォーターボトル・タオル・ヘッドキャップ等の個人の備品は必ず区別し、栄養補給サプリメント等も含め共用・使いまわしをしない。タオルやアイシング用の氷も共用はしない。
- フィジカルディスタンスを確保できない円陣等は避ける。
- 更衣場所は、密にならない様に入れ替わりながら使用する。更衣場所でのミーティングをひかえる。

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

## 会場での感染防止のために遵守すること

### 【チーム関係者用・チーム応援者・応援部員】

※チーム関係者用・チーム応援者・応援部員は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1) 来場前の健康チェック

- 発熱の有無(発熱とは37度5分以上の熱)
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

#### (2) 会場で感染防止のために遵守すること

##### ① 来場中に注意すること

- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外はマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 他の参加者、スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣場所の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することがないようにすること
- 会場内で大きな会話、応援等をしない
- ゴミは各自で持ち帰ること

##### ② 試合中に注意すること

- ベンチでは距離をとり座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離を空けて応援を行うこと
- ベンチ、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- 水筒や飲料用ボトル、ボール拭きなどのタオルの共有は行わないこと

##### ③ 試合終了後に注意すること

- ベンチは使用したチームが消毒を行うこと
- 更衣後、使用した更衣場所は、消毒を行い速やかに退場すること
- 更衣場所での食事は行わない

※試合終了後、3日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム責任者を通して専門委員長に対して速やかに報告すること。

#### (3) その他

- 試合前後のミーティングにおいても3密を避ける
- 更衣場所の滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避けられるチームは、できるだけ車の相乗りを避けた個人による移動を検討する
  - 公共交通機関で移動する場合、各個人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する
  - チャーターバス等で同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する

# 新型コロナウイルス感染拡大防止について

---

## 会場での感染防止のために遵守すること

### 【大会役員、補助員、来賓、医療関係者、報道関係者等会場への入場が認められた人用】

※会場への入場が認められた人は、感染症対策について以下の項目を遵守してください。

#### (1) 来場前の健康チェック

以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（当日に確認を行う）

- 発熱の有無（発熱とは37度5分以上の熱）
- 咳や喉の痛みなどの風邪の症状の有無
- だるさ、倦怠感、息苦しさ（呼吸困難）の有無
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等の有無
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるかの有無
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触かの有無

※来場時に指定の新型コロナウイルス感染症の「個人健康チェックシート」（提出用）を必ず提出すること。

#### (2) 会場で感染防止のために遵守すること

##### ① 来場中に注意すること

- 検温を受けてから手指のアルコール消毒を行い入場すること
- 会場ではマスクを着用すること
- こまめな手洗い、うがい、アルコールによる手指消毒を実施すること
- 選手、チームスタッフ、運営スタッフ等との距離を確保すること
- 自身のタオル、ドリンク等を他者と区別できるようにしておく。
- 無線機の共有はしない。やむを得ず使用する場合は十分な消毒をする

※試合終了後、3日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、専門委員長に対して速やかに報告すること。

#### (3) その他

- 滞在時間を減らすため、必要以上の会場早着は避ける。
- 移動についての注意事項。
  - 公共交通機関での移動を避け、個人による移動を検討する。
  - できるだけ車の相乗りは避けるようにする。
  - 公共交通機関で移動する場合、各個々人は政府が推奨する感染予防対策を徹底する。
  - 同乗車両を利用する場合は、可能な限り席の間隔をあけて座り、車内の換気に留意する